

## 「JISA ステップ・アップ・オンラインツアー ～コロナ禍における新人社員向け育成研修～」が開講されました

令和2年11月16日より、「JISA ステップ・アップ・オンラインツアー～コロナ禍における新人社員向け育成研修～」が開講された。受講生は42名。ステップ・アップ・オンラインツアーとは、JISA会員の新人社員を対象に、技術的な知見、知識、興味を高めることによる育成と、他社社員との交流におけるコミュニケーション能力向上を目的とした研修プログラムである。

冒頭、長坂副会長からは、「コロナ禍において今までの働き方を見直すいい機会になった。リアルコミュニケーションがオンラインとなったことで、こういった研修も、地域間の差がなく実施することができるようになった。今回、技術の習得の仕方、情報サービス業の社会的な価値、グローバルな視点を学ぶプログラムを用意した。皆さんには、自分のため、会社のため、社会のために活躍する人材になってほしい」と、受講生へ激励があった。



受講生は、約1ヶ月間、ZOOMやSlack、YouTubeといったオンラインツールを活用しながら、3名の有識者の講演を聞いた上で6名一組となり、有識者から出される課題について討議し、レポートに取りまとめることとしている。

	テーマ	概要	講師
第1回	先進技術の探し方と注意事項	現在利用されているITサービスがどのような技術で構築されているかを知り、自身が新たに習得すべき技術の方向性を探すとともに、その技術の高め方、使い方の処方箋を学びます。	有馬 三郎 (JISA 企画連携委員会 委員 株式会社 セゾン情報システムズ テクノ バージョンセンター長)
第2回	デジタル技術がもたらす社会変革とその実際 ～変わる情報サービス企業とITエンジニアの役割～	デジタル技術の急速な進化に伴い、社会のあり方や企業のビジネスモデル、人の行動などが影響を受け、結果として大きな変化が進行しています。それは“エクスポネンシャルテクノロジー”を原動力とし、かつての産業革命に匹敵する点で「第4次産業革命」と呼ばれる変化です。具体的には一体、どんな変化なのでしょう？我々は、どのように対応していくべきなのでしょう。皆さんと一緒に考えます。	田口 潤 (株式会社 インプレス 編集主幹)
第3回	日本のIT企業にグローバル活動は必要か？	現在の日本のIT市場概況、労働人口、特にIT人材の状況や技術動向を踏まえ、① JISA国際連携部会の活動、② 海外視察、国際交流を通して見聞きした話題を紹介し、日本IT企業にとってのグローバル活動の意義、目的を考えたいと思います。	大須賀 正之 (JISA 国際連携部会 担当部長 株式会社 CAC Holdings 顧問)

(大原)